

KRELL
THE LEADER IN AUDIO ENGINEERING



S-300i

Remote Control Integrated Amplifier

取扱説明書

目次	ページ
1. 初めに	2
2. 開梱	3
3. 設置について	3
4. フロント・パネル/リモートコントローラーの名称と働き	4
5. リモートコントローラーの電池装着	5
6. リア・パネルの名称と働き	6
7. 接続	7
8. 基本操作	8
9. カスタマイズする	9
設定項目の選び方	9
設定項目の変更	
・バランス	9
・バランス入カトリム	9
・入力レベルトリム	9
・シアター	10
・ディスプレイ	10
・ミュート	10
・入カトリガー	10
・出カトリガー	10
・入力機器名称	11
・バージョン情報	11
・設定の保存	11
10. Q&A	12
11. 主な仕様	12
12. 保証について	13

■ 初めに

このたびは KRELL S-300i インテグレートッド・アンプファイヤ をお買い求め頂き、誠にありがとうございました。

同社リファレンス・アンプの技術をふんだんに盛り込まれた本機のプリアンプセクションは、ボリューム回路を含む入力から出力まで全信号増幅回路を最小限のフィードバックにてディスクリート回路で構成しています。またドライバー段に至るまでの全ての回路はピュア・クラス A 増幅。

同社独自のサーフェイス・マウント テクノロジー (SMT) の採用で、各エレメント間の設置を緊密に保つ事を可能にし、シグナル・パスの大幅な短縮化を達成しました。同時に小型にして 150W/ch @8Ω、300W/ch @4Ω という驚異的なパワー・リニアリティーを誇ります。

豊富な機能は本体のみならず、リモートコントローラーによって全ての操作を容易に行う事が可能です。

ご使用上の注意

本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

- 本機をご使用になる前に取り扱い説明書をお読み頂き、本機の機能、操作に関し御確認戴けます様、お願い致します。
- 各入/出力を接続もしくは外す際は、必ず電源をお切り下さい。
- リア・パネル上の各ピンコネクタ内部は手をお触れにならぬ様、お願い致します。
静電気が発生すると、本体に重大なダメージを引き起こす可能性があります。
- 操作スイッチやノブを扱う際は、強く押さないで下さい。
- 本機のパネルを外したり、御自身で修理をする事は絶対にお止め下さい。感電等の重大なトラブルの原因になります。もし何かの異常が発生した場合は、お買い求めの販売店、もしくは ACCA まで御連絡下さい。
- 長期間御使用されない場合は、電源コードを抜いて下さい。
- 落雷による被害を避ける為に、落雷発生時は AC プラグを本体か抜いて下さい。
- 本体内部にヘアピン等の異物が入り込まないように、十分ご注意下さい。もし異物が入ってしまった時は、即座に AC コードを抜き、販売店もしくは ACCA へご相談下さい。
- 本機を移動する際は必ず初めに AC プラグを抜き、その後に各種ケーブルを外して下さい。
- AC コードを本体、壁コンセントから抜く際は、必ずプラグにて行って下さい。コードを使用しての抜き差しは絶対に行わないで下さい。
- お手入れの際は、乾いた綺麗な布で行って下さい。化学洗剤や水等の使用は本機本体や仕上げにダメージを与える可能性があります。
- 本オーナーズ・マニュアルは保管される様、お願い致します。



● 付属の電源コードの取扱いについて

本機に付属している電源コードは、本機専用のものです。他の機器にはご使用になれません。

■ 開梱

- 梱包の蓋を開けて最上部のアクセサリボックスを取り除き、本機ならびに以下のものが揃っていることをご確認ください。

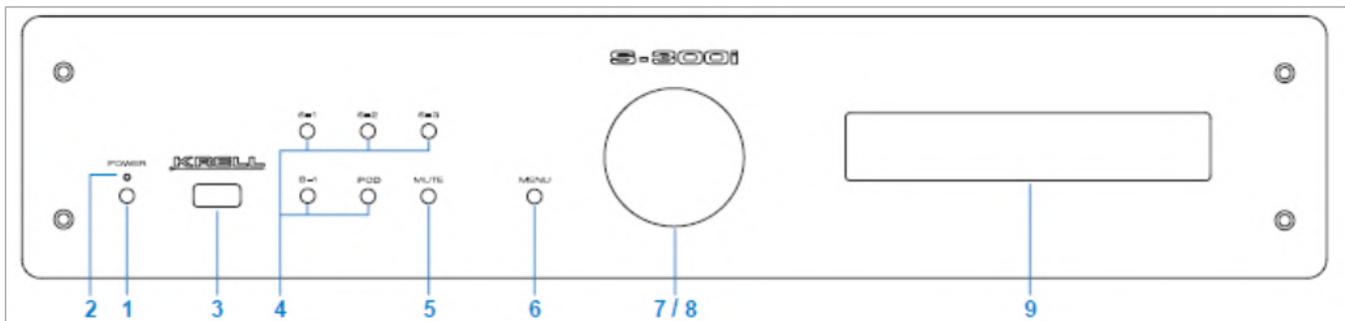
- ・S-300i 本体
- ・リモートコントローラー
- ・リモコン用 単 4 電池 x2
- ・リモコン裏蓋開閉用レンチ（トルクス T-8）
- ・iPod 接続用ケーブル
- ・ラックマウント用ブラケット x2 取り付けネジ x6
- ・AC 電源コード
- ・取扱説明書
- ・保証登録はがき

- 万が一不足のものがありましたら、取扱店までお問合せください。
- 梱包材は、輸送時の損傷等を防ぐために役立ちますので必ず保管しておいてください。

■ 設置

- 本機を埃や湿気のない平坦な場所に設置してください。
- 本機の周囲は放熱を妨げない程度にあけておいてください。
- 本機は優秀な電源部を備えており、特に独立した回路は設けておりませんが、容量の貧弱な延長コードやマルチ電源タップ等は使用しないでください。15A の高級ラインコンディショナー、グラウンド済み AC ストリップならば差し支えありません。

■ フロントパネル、リモートコントローラー名称と働き



- 1 電源ボタン(スタンバイ⇔オン)
- 2 電源オン/スタンバイ表示 LED
- 3 赤外線リモコン受光窓
- 4 入力切替ボタン(S-1, S-2, S-3, B-1, iPod)
- 5 ミュートボタン
- 6 メニューボタン
- 7 ボリュームアップ/ダウン・ノブ(回転操作)

音量レベルは、ディスプレイに 0 から 151 の数字で表示されます。

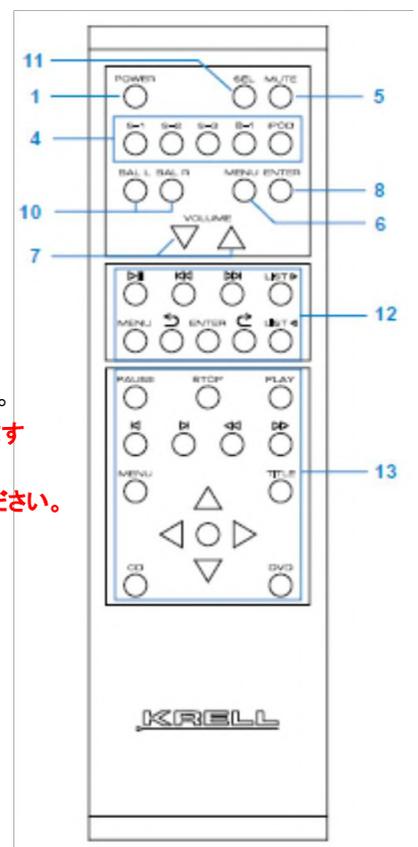
音量レベルは、スタンバイ後および主電源スイッチを切った後も記憶されています(0に戻りません)。

次回使用時の不意の大音量を避ける為、使用後は音量レベルを絞り込んでください。

- 8 エンターボタン(プッシュ操作)
- 9 ディスプレー

以降リモートコントローラーのみの操作

- 10 バランスボタン
バランスレベルは、ディスプレイに
L+5~L+1, Cen, R+1~R+5 の数字で表示されます。



- 12 iPod 操作用ボタン
- 11 クレル社製 パワーアンプ操作用ボタン
- 13 クレル社製 CD/DVD プレーヤー操作用ボタン

■ リモートコントローラーの電池装着

本機のリモートコントローラーは、単 4 アルカリ電池 2 本を使用します。電池を以下の手順で装着してください。

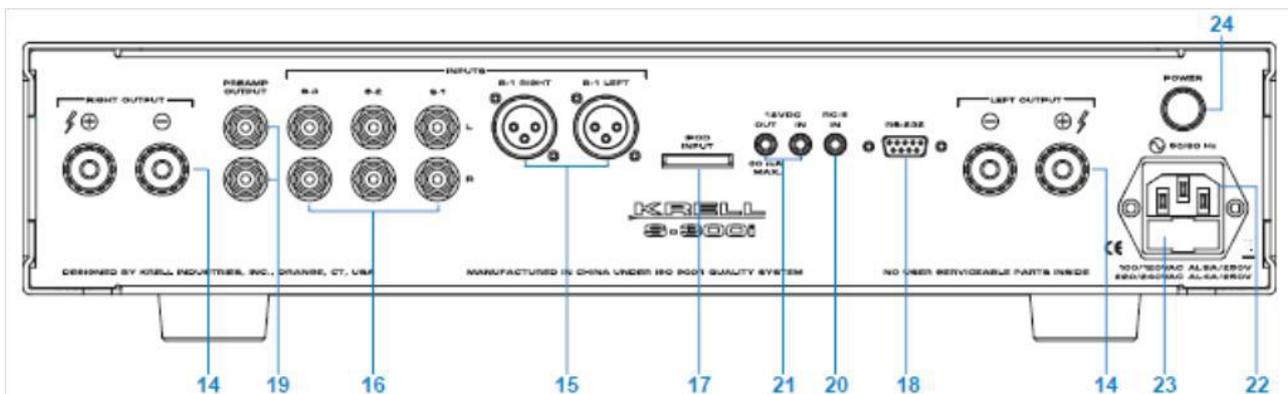
- 付属の T-10トルクスレンチで、リモートコントローラー背面のカバーを取り外します。
- バッテリー装着部の表示にしたがって、極性をまちがえないように電池を装着します。
- 背面のカバーを元の通り取り付けます。
 - * リモートコントローラーによる操作ができなくなったら、上記の要領で電池を交換してください。
 - * 長期間ご使用にならないときは、電池の液漏れを防止するため、電池を抜いてください。



下記のことは必ず守ってください。電池の使い方を間違えると電池が発熱、液もれや破裂したり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
- 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。
- 分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- +-を逆に入れしないでください。
- +-をショートさせたり、ネックレスなど金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。
- 電池に直接はんだ付けしないでください。
- 電池そのものや電池を入れたリモコンの置き場所は直射日光・高温・高湿の場所を避けてください。電池には化学物質が入っているので、暑さや湿気は禁物です。特に高温・高湿、直射日光のあたる場所での保管はさげましょう。寿命が短くなるばかりか、破裂・液漏れをおこす恐れがあります。
- 電池内部の液が漏れて目に入った、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがなどのおそれがあるのできれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
- 長期間ご使用にならない場合はリモコンから電池を外してください。また、使い切った電池は、すぐに機器から取りだしてください。
- 電池の使用推奨期限: リモコンの働きが悪くなったりした場合や、また、通常は半年から一年を目安として交換されるようお勧めします。

■ リア・パネル 名称と働き



● アンプ出力

14 スピーカー出力端子(R/L)

● 入力(ラインレベル)

15 B-1 : バランス R/L 入力

*XLR コネクター : ピン配列は、1 番グランド、2 番ホット(非反転)、3 番コールド(反転)

16 S-1, S-2, S-3 : シングルエンド(アンバランス)入力(RCA コネクター3 系統)

17 iPod 入力 (30 pin)

● 出力(ラインレベル)

19 PREAMP OUTPUT : プリアンプ出力(プリアンプ/パワーアンプのセパレート・システムにおいて、本機をプリアンプとして使用する場合、この端子でパワーアンプと接続します。(スピーカー出力は切れません。)

● リモート接続

18 RS232 コントロールポート

20 RC-5 入力(RC-5 形式の有線リモコンを接続する場合の入力端子)

21 12VDC トリガー出力(本機のスタンバイ⇄オンに連動して、同一方式のトリガー入力を接続した他の機器をスタンバイ⇄オンにするための端子)

12VDC トリガー入力(同一方式のトリガー出力をもつ他の機器に接続して、その機器のスタンバイ⇄オンに連動し、本機をスタンバイ⇄オンにするための端子)

● 電源

22 IEC インレット(IEC 仕様付属の電源コードを接続)

23 ヒューズ(内部ショートなどの事故時、過大 AC 電流が流れたときに切れる保護ヒューズ)

24 主電源スイッチ(ブレーカースイッチ)

■ 接続

●本機に他の機器を接続する際は、本機も他の機器もすべて電源をオフにしておいてください。

●ケーブル類は、相互にからまったりしないよう接続してください。特にハムその他のノイズを招くことがないように、AC 電源コードは他の接続ケーブル類と離すようにしてください。

1. スピーカーケーブルを本機のスピーカー出力端子に接続します。

- ・本機のスピーカー出力端子は、先バラ、バナナプラグ、ピン、スペードラグのケーブル端末にも対応します。
- ・赤い端子には+のスピーカーケーブル、黒い端子には-のスピーカーケーブルを接続します。

2. ソース機器の出力を本機に接続します。

- ・本機はシングルエンド・アンバランス入力 3 系統(S-1,S-2,S-3)、バランス入力 1 系統(B-1)、iPod 入力 1 系統(iPod)を備えています。

3. 付属の AC 電源コードを本機背面の IEC インレットに接続し、もう一方を最寄りのコンセントに接続してください。

4. IEC インレット上部の主電源スイッチ(ブレーカースイッチ)をカチッと音がするまで押し込んでください。フロンパネルの電源オン/スタンバイ表示 LED が赤く点灯します。



主電源スイッチ ON/OFF 時に、スピーカーからノイズが聞こえますが異常ではありません。

■ 基本操作

本機は、フロントパネルで入力機器の選択、音量コントロール、各設定変更を行なうことができます。

リモートコントローラーでは、これに加えて iPod の操作ができます。またクレル社製の CD/DVD プレーヤーやアンプのコントロールも行なうことができます。

リモートコントローラーの操作については“リモートコントローラー”の説明をご参照ください。

ご注意

本機は大パワーを持っていますので、不慮のノイズや不適切な過大出力から、スピーカーを守るため、入力切替などのキー操作を行なうときはボリュームを下げるかミュート状態にしてから行なってください。

- 1 本機の電源ボタンを押してスタンバイからオンにしてください。リモートコントローラーでもオンにすることができます。(フロントパネルの電源オン/スタンバイ表示 LED が青く点灯します。)
- 2 フロントパネル、もしくはリモートコントローラーでお聞きになる入力ソースを選択してください。
- 3 ソース機器をプレイ状態にします。
- 4 音量を適正に調整します。
- 5 入力ソースを切り換える際は、音量を絞りにしてから行ってください。これは、次のソースに切り換えられた際、不意に大音量になるなどによってスピーカーなどを損傷することを避けるためです。
- 6 ご使用にならないときは、本機の電源ボタンを押して電源をオンからスタンバイにしてください。リモートコントローラーでもスタンバイにすることができます。(フロントパネルの電源オン/スタンバイ表示 LED が赤く点灯します。)
- 7 **音量レベルは、スタンバイ後および主電源スイッチを切った後も記憶されています(0に戻りません)。
次回使用時の不意の大音量を避ける為、使用後は音量レベルを絞り込んでください。**

尚、長期間ご使用にならない場合は、主電源スイッチを切って、完全にオフにしてください。

(日常はスタンバイのままでご使用ください。)

■ カスタマイズする

本機は以下の各設定項目のカスタマイズができます。

- バランス / Balance
- ミュート / Mute
- 入力バランストリム / Input Balance Trim
- 入力トリガー / Input Trigger
- 入力レベルトリム / Input Level Trim
- 出力トリガー / Output Trigger
- シアター / Theater
- 入力機器名称 / Input Name
- ディスプレイ / Display
- バージョン情報 / Info
- 設定の保存 / Configuration

各設定の変更は、本機またはリモートコントローラーの MENU/メニューボタンを押し、ディスプレイのメニュー画面を見ながら行います。もう一度 MENU/メニューボタンを押すとディスプレイは通常画面に戻ります。

設定項目の選び方

メニュー画面で本機のボリュームノブを回す、またはリモコンのボリューム(アップ/ダウンボタン)で設定項目を選びます。本機のボリュームを押し込む、又はリモコンの ENTER ボタンを押し決定します。

設定の変更

本機のボリュームノブを回す、またはリモコンのボリューム(アップ/ダウンボタン)で設定内容を変更し、本機のボリュームノブを押し込む、またはリモコンの ENTER ボタンを押し変更を決定します。メニューは前の画面表示に戻ります。メニュー画面の"BACK"表示でボリュームノブを押し込む、またはリモコンの ENTER ボタンを押すと前の画面表示に戻ります。

- **バランス / Balance** : 左右の音量バランスが設定できます。

バランスレベルは、ディスプレイに All Left, L+5~L+1, Cen, R+1~R+5, All Right で表示されます。Cen はセンターを表します。
出荷時設定 : Cen *リモコンのバランスボタンでもダイレクトに設定可能です。

- **入力バランストリム / Input Balance Trim** : 各入力の左右の音量バランスの設定が個別にできます。

バランスレベルは、ディスプレイに L+6~L+1, Cen, R+1~R+6 で表示されます。Cen はセンターを表します。

出荷時設定 : S-1,Cen

- **入力レベルトリム / Input Level Trim** : 各入力の入力ゲインが個別に設定できます。

同じボリューム位置での各入力の音量差を揃えられます。ゲインレベルは、ディスプレイに+6dB~+1dB,0dB,-1dB~-6dB で表示されます。

出荷時設定 : S-1,0dB

● **シアター / Theater** : シアター・スループットが設定できます。

本機のシステムに接続されているスピーカーをマルチチャンネル・システムで共用する場合、サラウンドプロセッサー等からのフロント R,L 信号を本機に入力しますが、サラウンドプロセッサー等のボリュームで音量調節をする為、その入力に対して本機のプリアンプ部のゲインをゼロにセットしボリューム操作を無効にできます。

各入力(S-1, S-2, S-3, B-1)が個別に設定できます

出荷時設定 : None(設定無し)

*一つの入力だけがシアター・スループットに設定され、かつ入力トリガーが”Theater”に設定されている場合は、入力トリガーによる本機の電源オンと同時に自動的にシアター・スループット入力を選択します。(“入力トリガー”の項を参照ください。)

● **ディスプレイ / Display** : ディスプレイの表示モード(MODE)と輝度(BRIGHTNESS)が設定できます。

表示モード On : 常時点灯

Off : 消灯 (“MENU”ボタンで再点灯し設定変更できます。)

Timed : 操作時のみ点灯、操作終了後約 30 秒で消灯します。

出荷時設定 : On

輝度 : High(高)、Medium(中)、Low(低)

出荷時設定 : High

● **ミュート / Mute** : ミュート(音量を下げる)が設定できます。

-20dB……………-20dB 音量を下げます。

Full……………無音状態に音量を下げます。

出荷時設定 : Full

● **入力トリガー / Input Trigger**

本機と同一方式のトリガー出力をもつ他の機器に接続して、その機器のスタンバイ⇄オンに連動し、本機をスタンバイ⇄オンにする設定できます。

Off …………… 連動しません。

Normal …………… 連動します。

Theater…………… 連動し自動的にシアター・スループットに設定されている入力を選択します。(“シアター”の項を参照ください。)

出荷時設定 : Normal

● **出力トリガー / Output Trigger**

本機と同一方式のトリガー入力をもつ他の機器に接続して、本機のスタンバイ⇄オンに連動して、その機器をスタンバイ⇄オンにする設定ができます。

Off …………… 連動用 12V 出力をオフにします。

On …………… 連動用 12V 出力をオンにします。

Delay…………… 連動用 12V 出力をオンにし、遅延時間を 0 秒から 30 秒まで選択できます。

出荷時設定 : On

- **入力機器名称 / Input Name** : 各入力(S-1, S-2, S-3, B-1)の入力機器名称を設定できます。

* 選択可能入力機器名称

AUX, AUX1, AUX2, AUX3, BLURAY, BYP, CABLE, CD, CD1, CD2, CDR, COMPDAC, DAT, DCC, DISC, DISC 1, DISC 2, DISC 3, DSS, DVD, DVD1, DVD2, DVD3, DVD-A, DVR, EQ, GAME, HI-8, HD, HD-DVD, IPOD, LD, LD1, LD2, LINE 1, LINE 2, LINE 3, LINE, MDISC, MIXER, MON, MP3PHONO, PHONO1, PHONO2, PROC, SACD, SAT, SAT1, SAT 2, SRC1, SRC2, SRC3, SURR, S-VID, TAPE1, TAPE2, TAPE3, TAPE, TEST, TUNER, TUNER1, TUNER2, TV, VCR, VCR1, VCR2, VCR3, VDISC, VIDEO, VIDEO1, VIDEO2, VIDEO3, 8MM, 8TRK

- **バージョン情報 / Info** : ソフトウェアのバージョン情報を表示できます。

- **設定の保存 / Configuration** : 設定の保存、呼び出し、クリア(出荷時設定)ができます。

Factory	出荷時設定に戻します。
Recall	保存している設定を呼び出します。
Save	設定を保存します。

■ Q&A

Q: 本機の音量を上げると、スピーカーから大きなハムが聞こえます。これは何でしょうか。

A: ハムは何種類かの干渉によって発生します。まず本機に接続したケーブルが、接点にゆるみなどがなく、すべてしっかりと接続されているかどうかを確認してください。また本機の上に直接、他の機器の電源部が来たりハムを誘導しやすい機器を乗せたりしないようご注意ください。さらに、システム内にグラウンド・ループがないかどうかを確認してください。電源コードを 3 ピンコンセントからとっている場合は、2 ピン・アダプターを取り付けてみます。

これでハムはなくなるはずですが、それでもまだハムが残るようでしたら、システム内のすべての機器について以上の処置を行なってください。なお、他の機器のグラウンドをリフトする場合には、必ずそのメーカー、ないしその取扱店にご相談ください。

これらの措置によってもハムがなくなる場合は、クレル取扱店までお問合せください。

Q: 本機の入力ソース B-1 を選択すると、一方のチャンネルがもう一方よりもゲインが小さくなったような気がします。プリアンプに問題があるのでしょうか。

A: 本機に問題があるとはまず考えられません。本機のバランス入力、もしくは出力の内部配線端末処理に問題があるなど、まずありえないことです。まずゲインが小さいと思われるチャンネルがどちらなのかを特定し、そのチャンネルの入力ケーブルをもう一方のチャンネルと入れ替えてみます。これでもう一方のチャンネルの方に問題が発生したら、そのケーブルに問題があると考えられます。またケーブルを入れ替えても問題のあるチャンネルが変わらなければ、今度は本機からの出力ケーブルを同様にチェックしてください。

ケーブルにもソース機器にも問題がないと思われる場合には、クレル取扱店までお問合せください。

Q: サラウンドプロセッサを使用する際、本機の音量はどこでコントロールすればいいのでしょうか。

A: 本機のシアター・スルーアウト機能を使用する場合、システム全体の音量コントロールはサラウンドプロセッサ側で行ないます。この機能では、本機の音量コントロールが解除されますので、本機の音量コントロールを予め最適に設定しておく必要がなくなります。

■ 主な仕様

出力(RMS)	150W/ch @8Ω、300W/ch @4Ω
周波数特性	20Hz~20kHz、+0dB/−0.14dB
S/N比(A-WTD)	90dB
歪み率(THD)	<0.04%(@1kHz)、<0.25%(@20kHz)
ゲイン	32.5dB
入力感度	0.82Vrms
入力インピーダンス	94kΩ(バランス) / 47Ω(シングルエンド)
出力インピーダンス	<0.15Ω
消費電力	35W(スタンバイ時)、50W(アイドル時)、1,800W(最大)
電源トランス	750VA
出力系統	プリアウト(RCA)x1系統、スピーカー出力x1系統
入力系統	XLRバランス入力x1系統、RCAシングルエンド入力x3系統、i-Pod入力(30Pin)x1系統
リモート・コントロール機能	赤外線ワイヤレス・リモート、12VDCトリガー入/出力1系統、RC-5入力
寸法/重量(mm/kg)	440W x 102H x 445D / 19.5kg

■ 保障について

- 本機は長期にわたって高い信頼性を発揮できるよう設計されておりますが、万が一、故障などのトラブルが発生した場合は、有限会社アッカのサービススタッフがサポートいたします。
- お客様自身による修理は絶対に行なわないでください。保証の対象外になるばかりでなく、アンプ部には高い電圧が流れているため大変危険です。
- 修理のために製品をアッカに返送される際、事前にお電話で症状についてお求めの販売店、もしくはアッカにご相談ください。
アッカの連絡先は次のとおりです。

有限会社アッカ

〒106-0031 東京都港区西麻布 1-15-1

森口ビル 7F Tel.03-5785-0661 Fax.03-5785-0662 : info@accainc.jp

- 製品をご返送される際、お買い求めの際に使われていた梱包材をご使用になりカートンに入れて下さい。これは保証サービスを受けていただくために絶対に必要な条件となります。
- 製品保証期間:1 年間
- 日本国内における製品保証について日本国内における本機の製品保証については、以下の規定が適用されます。

○保証

本機に用いられている材料や生産工程には十分な品質管理が施されていることを保証いたします。

製品の保証期間は初代の購入者による購入日から1年間です。この保証は購入日から30日以内に同梱の保証登録書をアッカにご返送いただいた場合にのみ適用されます。

○保証内容

取り扱い説明書に従わない使い方をした場合や乱暴に扱った場合、輸送中の事故や不注意、アッカ以外で修理や変更が加えられた製品に対しては、この保証は適用されません。ご購入の販売店、またはアッカへ製品を返送される際、梱包・配送はお客様のご負担となります。

○修理

製品の故障が上記保証内容と条件に合致している場合、部品代や技術料はアッカが負担いたします。

○その他

製品に対するいかなる保証についても保証期間中のみ有効です。なお、本機に接続された機器に対して付随的に発生した故障やその修理費用については、本保証ではいっさい適用されません。

* この保証規定は英文の取扱説明書を含むすべての保証に関する記述に優先します。

輸入・発売元

AccAinc.



有限会社アッカ

〒106-0031 東京都港区西麻布 1-15-1 森口ビル 7F

Tel. 03-5785-0661 Fax. 03-5785-0666

[www. accainc. jp](http://www.accainc.jp)